



## 三星元人市長からのメッセージ

...

5月7日、市制施行71周年安城市発展祭を挙  
行しました。式典の中で、市政功労者7名、一  
般功労者24名を表彰し、市に金品の寄付・寄贈  
をいただいた2名7団体には特別感謝状を贈呈  
しました。皆様には改めて心からの感謝と敬意  
を表します。誠にありがとうございました。

### ◎ 藻谷浩介氏が講演

閉式の後の講演会には、(株)日本総合研究所主  
任研究員の藻谷浩介氏をお招きしましたが、演  
題がなんと、「世界に誇るまち、安城の今と未来」  
という、いささか大げさすぎるのでは、と思わ  
せるものでした。冒頭、講演の主な内容として  
ふたつ挙げられました。ひとつは「東京や名古屋  
より安城の方が世界に誇るまち」、もうひとつ  
が「安城が目指すべき真のライバルは、東京  
や名古屋よりもスイスと高浜」です。

藻谷氏は平成大合併前の全3200市町村、海  
外100か国以上をなんと自費で訪問し、地域特  
性を多面的に把握しています。そして、「噂や  
空気(雰囲気)ではなく、全数調査の数字(客観  
的データ)から事実を確認せよ」と訴えています。  
学会、業界、政界等も、ネット上のコミュ  
ニティも、間違った思い込みを共有している  
ことが多く、事実に反する世の常識が形成され  
やすいと警鐘を鳴らします。

### ◎ 安城は世界に誇るまち？

藻谷氏が示した「安城が世界に誇れるまち」の  
根拠を要約すると次のようになります。

①日本の国際競争力は世界、とりわけ米中  
に対して優位である。②世界的に見て安城は人口  
過密だが、東京・名古屋ほどではない。③過去  
10年間、売り上げが伸びたのは農業と製造業。  
小売り・サービス業は伸び率ゼロ。安城は豊か  
な農工業都市。④2014年の1人あたりの生活保  
護費は、大阪市11万8200円、名古屋市3万9700  
円、安城市8100円。

### ◎ 目指すはスイスと高浜市？

次に、スイスと高浜市を目指せとした理由は  
以下のとおりです。

まず、スイスは、ずっと日本の経常収支赤字  
の相手国であり、最低月給が40万円以上である  
こと。次に高浜市は、1人あたりの生活保護費  
が安城市より低い6500円であること、2017年か  
ら5年間で15歳～44歳の年齢層が増えたこと  
です。

そして藻谷氏は、最大の政策課題は少子化対  
策であることを訴えました。若者(15歳～44歳)  
が減り続ける原因はもちろん、子どもが減って  
いるからです。

講演を聞き終えて、私が考える本市の強みと  
課題、裏を返せば重点政策が、藻谷氏の考えと  
見事に整合し、お墨付きを与えられた気がして、  
内心うれしく思いました。

### ◎ 控えめな私たち？

また、藻谷氏から見ると、愛知県民、なかで  
も西三河の人々は、非常に控えめで、自慢をし  
たがらないようです。それゆえ、自分たちのま  
ちは、東京や名古屋よりも暮らしやすく、競争  
力があるんだ、ということを、もっと積極的に  
発信しなければならない、と痛感させられまし  
た。

これからも、迷うことなく、こども子育て施  
策と、農業・製造業を中心とする産業の振興を  
推進し、安城を元気にすることで、少子化に歯  
止めをかけるべく、全力で職務に取り組む勇気  
をいただけた、そんな有意義な講演会でした。



日本総合研究所  
主任研究員の  
藻谷浩介氏(左)